

## 平成25年度第1回高松市入札監視委員会の結果について

- 1 開催日時 平成25年7月4日(木) 午後1時から午後2時まで
- 2 開催場所 高松市役所 11階 職員研修室
- 3 出席者 委員3名

### (1) 委員

委員長	植木 英治 (高松大学経営学部教授, 香川大学名誉教授)
委員長代理	佃 昌道 (学校法人 四国高松学園理事長)
委員	紀伊 雅敦 (香川大学工学部准教授)
※欠席委員	柴田 潤子 (香川大学大学院香川大学・愛媛大学連合法務研究科教授)
〃	藤本 英子 (弁護士)

### (2) 市側出席者

城下財政局長, 好井財政局次長(契約監理課長事務取扱), 飯田上下水道局次長(企業総務課長事務取扱), 石垣都市整備局次長(道路課長事務取扱), 橋本財産活用課長, 平尾財産活用課危機管理センター整備室長, 中川まちなか再生課長, 野田浄水課長, 河合技術検査室長, 滝井財務管理課財産契約室長, 市原財務管理課財産契約室主幹, 松本契約監理課長補佐ほか

## 4 会議の概要

### (1) 報告

#### ア 市発注工事等の入札・契約状況などについて

##### (ア) 工事等の発注状況について

平成25年1月から4月までの工事および建設コンサルタント業務などの発注状況について報告を受けた。

#### 工事

一般競争入札 18件 公募型指名競争入札 47件 随意契約 4件  
随意契約(緊急工事) 5件

合計 74件 約12億4,320万円

#### 建設コンサルタント業務

公募型指名競争入札 13件 随意契約 1件

合計 14件 約8,272万円

##### (イ) 指名停止の状況について

平成25年1月から4月までに行った指名停止等の状況について報告を受けた。  
該当なし

### (2) 審議(抽出事案について)

平成25年1月から4月までの市発注工事のうち, 委員会が予め契約方式別に工事

の内容や業種が重複しないなどの基準により、以下の5件の工事等の事案を抽出し、指名の経緯などについて審議した結果、今後の検討を要望する事項はあったが、いずれの事案も指摘に相当する問題点はなかった。

**抽出事案**

ア	高松駅南交通広場通路シェルター建設工事	一般競争入札	建築一式工事
イ	西方寺バルブ制御所電気設備工事	公募型指名競争入札	電気工事
ウ	福岡林線路面復旧工事	公募型指名競争入札	ほ装工事
エ	男木西海岸線道路災害復旧工事（3工区）	随意契約	土木一式工事
オ	高松市危機管理センター（仮称）等建設に伴う地質調査業務委託	公募型指名競争入札	地質調査

(3) その他

- ・ 次回の会議の日程 平成25年10月

5 質疑応答（要旨）

質 問	回 答
<p>[高松駅南交通広場通路シェルター建設工事]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高松駅南交通広場は、現在、供用されているか。</li> <li>・ 高速バス乗り場は、全て高松駅南交通広場に移るのか。</li> <li>・ 総合評価落札方式において、どのような評価項目で差が生じるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本年10月からの供用開始を目途に整備を進めている。</li> <li>・ 高速バスの乗り場は、現在の駅前広場北側のバスターミナルから、全てが移る予定である。</li> <li>・ 施工計画や高松市発注の同業種工事の工事成績評定点の平均点といった評価項目で差が生じることがあるが、企業の地域性、社会性の評価項目については、多くの企業が評価を申し出ており、あまり差は生じていない。また、土木一式工事においては、継続教育の</li> </ul>

<p>[西方寺バルブ制御所電気設備工事]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事は、工事概要によると、設置機器の数が少なく、積算も容易と思われるが、最低制限価格を下回り失格となった業者がいる理由は何か。</li> <li>・機器の見積りがより安価であれば、予定価格は、更に安価な金額に設定できるのではないか。</li> </ul> <p>[福岡林線路面復旧工事]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「くじ」により落札者が決定しているが、「くじ」となる案件の割合はどの程度か。</li> </ul> <p>[男木西海岸線道路災害復旧工事(3工区)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離島での工事は、応札者が少ないが、設計に当たり、特別に経費として計上しているものはあるのか。</li> </ul>	<p>取組など配置予定技術者の評価項目で差が生じることがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事については、超音波流量計等の機器費が工事費全体の4割を占めているが、その積算単価は見積りによるものであるため、入札金額にばらつきが生じたと考えられる。</li> <li>・機器の見積りは、複数者から行っており、機器毎に最も安価な金額を当該機器の単価として設定している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土木一式工事、ほ装工事については、見積りによる単価が少なく、国の歩掛に基づき、正確な積算をすることが可能であり、また、最低制限価格率の算出方法は、契約監理課ホームページで公表しているため、最低制限価格を算出することは可能である。このようなことから、これら業種では、「くじ」となる案件は多いが、建築系の工事については、見積りによる積算が多いため、比較的「くじ」となる件数は少ない。平成24年度の「くじ」の発生割合は20.7%である。</li> </ul> <p>なお、本年7月からの公募案件から最低制限価格率の有効桁数を2桁から3桁とするなどの見直しを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資材の運搬等に要する経費として、フェリー料金を計上しているが、採算性や利便性の面で、応札者が少なかったものと考えられる。</li> </ul>
--	--

<p>・離島での工事について、応札してもらえるような方法を検討することを要望する。</p> <p>[高松市危機管理センター（仮称）等建設に伴う地質調査業務委託]</p> <p>・ボーリング調査が4箇所となった根拠は何か。</p>	<p>・基本設計受注者のアドバイスをもとに、今後の設計業務に必要となるボーリングの箇所数や調査場所，深さを決定した。</p>
--	--